

目の健康

網膜の毛細血管が損傷 失明の危険も

食事などで血液中に取り込まれた糖分は、インスリンの働きにより細胞に取り込まれます。インスリンの分泌が悪い、もしくは働きが悪いと血液中の糖分が高くなります。この状態が続くと次第に血管が傷んでいきます。細いけれど重要な血管が多い網膜、腎臓、末梢神経へ栄養を届ける毛細血管が障害されると合併症が出ます。糖尿病性の網膜症、腎症、神経障害を3大合併症といえます。

糖尿病網膜症の初期は、網膜に小さな点状の出血が見られるくらいで自覚症状はありません。進行すると網膜の血流が低下します。すると酸素不足となった細胞から血管を増やす働きのVEGFが分泌されますが、生えてくる血管は脆いため、眼の中の出血を起したり、血液中の水分が漏れやすくなって網膜の浮腫を来します。中心

部の黄斑が浮腫を起すと視力がかなり低下します。さらに進行すると、増殖膜が網膜に張り付いて網膜剥離を引き起こし、失明に至ることもあります。

初期は経過観察ですが、出血の増加や網膜の浮腫がある場合はレーザー治療や抗VEGF薬の眼内注射、硝子体出血や増殖膜による網膜剥離は手術が必要になります。

糖尿病の方は、眼科で定期的な眼底検査を受け、初期の段階で食い止めることが大切です。

大上 智弘 先生 プロフィール

平成14年筑波大学卒業、同附属病院眼科、虎の門病院眼科・茨城西南医療センター病院眼科科長、宮久保眼科副院長を経て令和3年4月院長就任■専門分野／白内障・硝子体・眼瞼手術、日本眼科学会認定専門医、網膜硝子体学会、日本眼科手術学会会員他

